

〈 2019年5月18日(土)午前 〉

		A会場 : L201	B会場 : L101	C会場 : L102	D会場 : L103	E会場 : L002	
9:00 10:00		受付					
10:00	1	山崎 暢子 京都大学 国境地帯における紛争と移動-ウガンダ北部ウエスト・ナイル地方を対象として-	Forum 'African History in Broader Perspective: Some Dimensions in 19th and 20th Century' Suzuki, Hideaki (National Museum of Ethnology) 'African Diaspora in the 20th Century Persian Gulf: Preliminary Observations with Slave Narratives' Anthony A. Lee (UCLA) 'An Enslaved African Woman in Nineteenth-Century Iran: The Life of Ziba Khanum of Yazd' Jeremy Prestholdt (UC San Diego) 'African Consumer Cultures, Japanese Industry, and the Politics of Commerce, 1920-1980'	安高 雄治 関西学院大学 マダガスカル南西部における地域住民主体の治安対策-現状と今後の展望-	芝田 篤紀 京都大学大学院文学研究科 カラハリ狩猟採集民の空間認識における統合自然地理学的研究の実践	フォーラム 「進行する『自然保護』という名の土地収奪 (green grab)」 岩井 雪乃 (早稲田大学) 「せめぎあう境界線: タンザニア・セレンゲティ国立公園の事例」 中村 香子 (東洋大学) 「『コミュニティ・コンサーベーション』の設置がもたらすコミュニティの分断: ケニア牧畜社会の事例」 丸山 淳子 (津田塾大学) 「『自然保護』が生み出す土地格差: ボツワナ西部におけるサンと野生動物保護・家畜管理をめぐる諸問題」	
10:15	2	近藤 有希子 日本福祉大学 到来する暴力の記憶-虐殺後のルワンダにおける人びとの情動と痛みへの想像力-	池野 旬	中澤 芽衣 京都大学アフリカ地域研究資料センター ウガンダ南部の都市近郊農村における富裕層による土地の囲い込み	三宅 栄里花、高田 明 京都大学 ナミビア北中部におけるサンとオバンボの土地利用をめぐる関係	丸山 淳子	
10:30	3	川口 博子 京都大学 暴力の記憶との対峙: 紛争後社会の規範をめぐる元反政府軍兵士の語りから		五野 日路子 東京農業大学大学院 マラウイにおける社会的現金給付政策: 受益者世帯への聞き取り調査から	池谷 和信 国立民族学博物館 カラハリ狩猟採集民における物質文化の変容: 狩猟具に注目して		
10:45	4	細井 友裕 東京大学/日本学術振興会 紛争「後」の国家・社会間関係と国家形成/建設: アパルトヘイト後の南アフリカ共和国の事例から		阿久津 昌三 信州大学学術研究院教育学系 大統領の国葬-Kwame Nkrumahの埋葬、再埋葬、再々埋葬の事例を中心として-	上田 元 一橋大学 ケニア半乾燥地域における農村生活用水の持続可能性と無償給水政策		大石 高典 東京外国語大学 犬との関わりからみたアフリカ社会: カメルーン東南部の狩猟採集民と農耕民の比較から
11:00-11:05 時間調整							
11:05	5	村橋 勲 日本学術振興会/京都大学大学院 難民登録と非公式の経済-食糧援助における「カード・ゲーム」の事例から-	粒良 麻知子 日本貿易振興機構アジア経済研究所 Who Selects Presidential Candidates of Dominant Parties in Sub-Saharan Africa?: The Cases of Botswana, Mozambique and South Africa	大平 和希子 東京大学大学院総合文化研究科 慣習的土地利用と伝統的権威: ウガンダ西部ブニョロの事例から	八塚 春名 津田塾大学 狩猟採集民ハッザによる食用植物の採集活動: 食事調査と場の分析から	フォーラム 「在来知と生態学的手法の統合による革新的な森林資源マネジメントの共創」	
11:20	6	中西 美絵 大阪大学大学院人間科学研究科 南スーダン難民における紛争に伴う困難な経験と、レジリエンスの側面から見たキリスト教の役割	みわ	Ochia, Christian Nagoya University Will Africa ever industrialize?: New perspectives on deindustrialization and reindustrialization	田中 文菜 京都大学大学院ASAFAS 狩猟採集民バカの歌・踊り遊びにおける集団の動きと参加者の役割	本郷峻 (京都大学) 他 「自動撮影カメラを用いた狩猟対象動物の密度・分布推定: 在来知との統合に向けた課題」 Kamgaing, T.O.W. (Kyoto University) et al. 'Estimating the population density of forest duikers using camera trapping in Southeast Cameroon'	
11:35	7	内藤 直樹 徳島大学 包摂/排除空間のなかで生まれる社会関係: 東アフリカのメガキャンプにおける市場の形成		宮内 洋平 立教大学 「銅像時代」到来のアフリカ: モニュメントの空間政治学	Yunhee Kim Hankuk University of Foreign Studies China's public diplomacy towards Africa: the case of Nigeria		門村 浩 東京都立大学 地球変動中のアフリカ-2018/19年シーズンの顕著な気象・水文イベント-
11:50	8	白戸 圭一 立命館大学 日本メディアの戦争報道: アフリカの紛争に関する報道の特質について		金堂 奏 一橋大学大学院社会学研究科 歴史記念館がかたちづくる空間の様相-ヘクター・ピーターソン・ミュージアムとソウエトの人々の関わりから-	シ ゲンギン 立教大学 南アフリカに進出したアジア系企業における人材育成の現状と課題: 中国メーカーXを事例に		Fu, Hoi Yee 専修大学 Do you feel the climate change?: Perceptions of the local herdsman in Nigeria

12:15	評議員会 (C会場, L102)	
13:15		

〈 2019年5月18日(土)午後 〉

		A会場 : L201	B会場 : L101	C会場 : L102	D会場 : L103	E会場 : L002
13:30	9	若月 利之 島根大学 過去50年のSSAトップ30ヶ国の米増産と 水田稲作の進化	Forum 'The African scientific diaspora in Japan in the Africa-Japan relations' Papa Saliou Sarr, S. Nakamura et al. (JIRCAS) 'Improving soil quality and agricultural productivity in Burkina Faso through efficient use of natural phosphate' Nsenda Lukumwena (Kobe Institute of Computing) 'Urbanizing Africa: Learning from Japan to dilute inconspicuous social, cultural and economic boundaries embedded in the African Colonial urban Heritage'	中尾 世治 総合地球環境学研究所 ふたつのコンテキストのなかのテキスト:ア マドゥ・ハンバテ・バの「フルベ文化」 (1956年)をめぐって	落合 雄彦 龍谷大学 「クレシヤード」の110年:英領シエラレオ ネ植民地のアサイラム小史	野田 健太郎 京都大学大学院ASAFAS タンザニア、ジョザニ・チュワカ湾国立公 園におけるザンバルアカコロブスの採 食行動について
13:45	10	西浦 昭雄 創価大学 自生的企業の発展-ザンビア農産物加工 業の事例-		鈴木 裕之 国士館大学 マンデ文学研究2:カマラ・ライとマンデ的 アイデンティティ	加茂 省三 名城大学 腹の政治-J-F.ハイヤーの概念を再 考する-	橋本 千絵、毛利 恵子 他 京都大学霊長類研究所 Pan属におけるメスの閉経について-野生 ボノボとチンパンジーにおける老齢メスの 性ホルモン動態
14:00	11	荒木 美奈子 お茶の水女子大学 タンザニア農村における内発的発展:担い 手としての住民組織に着目して		今井 一郎 関西学院大学 マラウイ・チルワ湖の漁業は持続可能 か?-漁獲水揚げ地点の調査から-	村田 はるせ 西アフリカのフランス語公用語圏諸国の 児童文学:作品と創作者たちの語り	古市 剛史 京都大学霊長類研究所 ヒト科における地域社会の進化の解明: 類人猿の集団間関係の変異の分析から
14:15	12	Tsilavo Ralandison Kyoto University Agricultural cooperatives in Madagascar: a historical perspective	Patou Masika Musumari (Kyoto University) 'Technologies for global health: opportunities and challenges for Africa and Japan to contribute to a healthy global community'	中村 亮 福岡大学 乾燥熱帯沿岸域の刺し網漁:スーダン紅 海北部ドンゴナーブ湾海洋保護区のジュ ゴン混獲防止にむけて	佐藤 千鶴子 アジア経済研究所 南アフリカに暮らすコンゴ出身難民女性 の不安定な生計	下山 花 京都大学大学院ASAFAS エチオピア南部ガモ高地における新作物 ライコムギの受容
14:30	13	勝俣 昌也、神田 靖範 他 麻布大学 他 タンザニア・ソングウェ州の農村における ブタ飼養の現状:アフリカ豚コレラの流行 前と流行後の調査から	Hiba Abuelgasim Fadlelmoula Abdelrahman (Kyoto University) 'Mental and Neurological Health leadership and Advocacy in Africa'	伊藤 千尋 広島学院大学 ザンビア・カリバ湖のカベンタ漁をめぐるボ リテイカル・エコロジー	高村 美也子 南山大学 埋葬地選択から見るスワヒリ農村ボンデ イ女性の位置づけ	伊谷 樹一、神田 靖範 京都大学 他 ドイツ領東アフリカに導入されたセンダン 科樹木の分布と利用
14:45	(移動・空き時間)					
15:00	ポスターコアタイム (L001)・最優秀ポスター発表賞授賞式					
16:00	(移動・空き時間)					
16:15	総会・研究奨励賞授賞式 (B会場:L101)					
17:30	(バスで京都産業大学へ移動・空き時間)					
18:15	懇親会 (京都産業大学並楽館2階 MIYAKO製麺)					
20:15						

＜ 2019年5月19日(日)午前 ＞

Table with columns for Venue (A: L201, B: L101, C: L102, D: L103, E: L002), Time, Session Number, and Speaker/Topic. Includes a central '受付' (Reception) area and a '10:45-10:50 時間調整' (Time Adjustment) period.

〈 2019年5月19日(日)13:35-17:00 〉

公開シンポジウム
「アフリカにおける日本企業の挑戦—TICAD VIIを見据えて」
(友愛館多目的ホールAgora)

ポスター発表(L001: コアタイム 5月18日(土)15:00-16:00)

P1 阪本 公美子、F.M.ムバゴ 他 Utsunomiya University 他 ザンジバルの香辛料・果物・薬用植物	P2 泉 直亮 目白大学 タンザニア農村における土地権の売買: 経済格差に注目して	P3 森尾 貴広 筑波大学 2013年度-2017年度における日系企業のアフリカ進出傾向	P4 盛 弘仁 アフリカ学会員 精霊憑依病気治療儀礼の有効性の間接的証明	P5 魚住 耕司 京都大学 カメルーン南部における住民のキャッサバの嗜好と販売
P6 中川 千草 龍谷大学 ギニア沿岸地域における塩づくりの脆弱性と可能性	P7 Kinyua Laban Kithinji Hosei University The Political Economy of Mobile Money Exchange in Africa: Mapping Adoption and Usage of M-Pesa in Rural Kenya	P8 安溪 遊地、安溪 貴子 Institute for Biocultural Diversity Songola Heritage Database, D. R. Congo: A trial for sustainable biocultural diversity	P9 西崎 伸子 福島大学行政政策学類 エチオピア西南部における「観光みやげ」-地域住民による創造とジレンマ-	P10 目黒 紀夫 広島市立大学 第4回マサイ・オリンピック: 変わったものと変わらないもの
P11 杉山 祐子 弘前大学人文社会学部 村びととしての「緑の推進協力プロジェクト」とその後の展開: ドドマ市周辺ゴゴ村落の事例から	P12 宮城 敬 京都大学大学院ASAFAS ザンジバルマサイが思い描くキャリアイメージの多様化	P13 吉田 昌夫 アフリカ日本協議会 1970年代タンザニア農村の集村化戦略はコミュニティをどのようにつくりかえたのか	P14 坂久 梓織 首都大学東京大学院 ケニア・グシイのソープストーン彫刻産業の作業工程-採石から販売まで-	P15 原田 靖子 東京藝術大学 紛争における音楽的介入: 北部ウガンダの事例を参考に
P16 下休場 千秋 北海道大学観光学高等研究センター カメルーン共和国の首長制社会における民族芸術の文化遺産化	P17 宮道 一干代、ジョブ・ワソンガ 他 長崎大学熱帯医学・グローバルヘルス研究科他 コミュニティ主導型トータルサニテーションの効果持続性: Open Data Kitを用いたケニア西部の「野外排泄撲滅」村落における調査結果	P18 三船 凛、山内 太郎 北海道大学 狩猟採集民、農耕民、商人のトイレと狩猟採集民女性の月経	P19 増田 研、林 玲子他 長崎大学 他 アフリカ農村部高齢者の生活・健康・ケア: ケニア、クワレ県におけるHDSSを用いた研究の予備的報告	P20 猪狩 友美、増田 研 長崎大学 ベナンにおけるブルーリ潰瘍の現状と取り組み
P21 姜 明江 アフリカ学会員 ザンビアにおけるハンセン病対策の歴史	P22 田 暁潔 筑波大学 子どもの日常活動からみる牧畜民マサイ社会の教育行為	P23 若林 テヒロ 埼玉県立大学 日本におけるアフリカ系移民と家族の生活 - ガーナ共和国からの来日を中心に -	P24 坂本 翼 京都大学学術研究支援室 京都大学におけるアフリカ研究: もうひとつの潮流	P25 國枝 美佳、長谷部 葉子 慶應義塾大学総合政策学部 他 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(SFC)のアフリカ研究~実学の精神の学際的なパートナーシップ~
P26 藤岡 悠一郎 九州大学 ナミビア北中部における果樹の分布と農牧民の居住の歴史	P27 近藤 史 弘前大学 タンザニア南部の古老が語る植林実践と植林地経験	P28 吉田 早悠里 南山大学 F. J. ビーバー資料群のアーカイヴズ構築: 課題と展望	P29 安本 暁 京都大学大学院ASAFAS 地域住民性を生み出す言語実践: DR コンゴ・大型類人猿ボノボの長期野外研究拠点の事例	P30 市野 進一郎、相馬 貴代 他 京都大学 他 マダガスカル南部におけるフォオキツネザルの長期継続研究: ベレンティ保護区の30年
P31 手代木 功基 撰南大学 ケニア山、氷河後退域における大型半木本性植物の実生の動態	P32 足達 太郎、田付 貞洋 他 東京大学 他 アフリカ昆虫学: 生物多様性とエスノサイエンス	P33 大橋 岳 中部大学 ギニア・リベリア国境地域でのチンパンジー調査と研究者交流	P34 奈良間 千之、水野 一晴 新潟大学理学部 他 近年のケニア山における氷河変動	